



# 入間市自治会の現状の見える化と 今後についてのご提案

2023年5月24日

「地域コミュニティづくり」  
事業コーディネーター

石澤 志津



## 1. プロジェクトの概要

## 2. アンケート結果

## 3. 課題の見える化

## 4. 参考事例（成功事例）

## 5. 今後についてのご提案

# 1995年1月17日 阪神淡路大震災



## 【人的被害】

死者 : 6,402人  
行方不明 : 3人  
けが : 40,092人

約8割の人が地域住民等によって救助されたと  
言われている。

地域の防災力

地域住民が災害時の救助や災害後の助け合いのために日頃から協力して蓄えておく力

# 1995年1月17日 阪神淡路大震災

最も大きな被害を受けた神戸市長田区。

(神戸市の死者・行方不明者4,569人の内、918人が長田区の住民)



長田区の中でも  
人口約4,800人真野地区の  
死者は19人にとどまった。

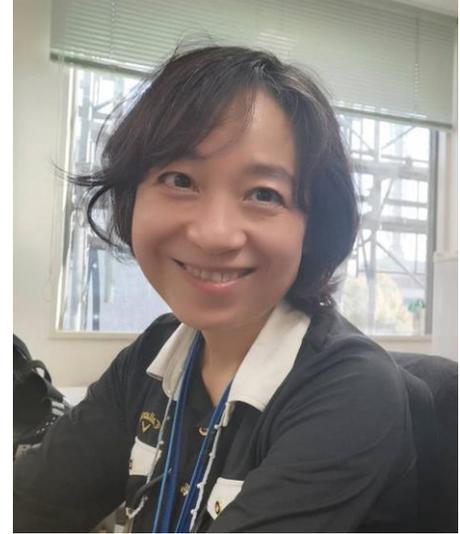
この数字は、他の地区と  
比べれば奇跡的と言える。

誰からの指示がなくても自主的にメンバーが集まり、  
救助活動が行えた背景には、震災前に30年間続いた  
コミュニティ活動があった。

首都直下型大震災 30年以内で発生確率70%

「地域コミュニティづくり事業コーディネーター」 石澤 志津

入間市が募集した  
「地域コミュニティづくりコーディネーター」に  
2022年9月より就任し活動中。



## <略歴>

- 神奈川県出身・在住（現在は川崎市民）
- 外資系企業（スポーツブランド）に18年勤務  
※マーケティング業務に携わる
- 川崎市・民間公募の任期付き職員（公務員）として3年間勤務  
※公立博物館の企画広報担当課長
- キャリア・デザイン・ラボ代表  
※地方創生事業  
※独立行政法人国際協力機構（JICA）進路相談カウンセラー

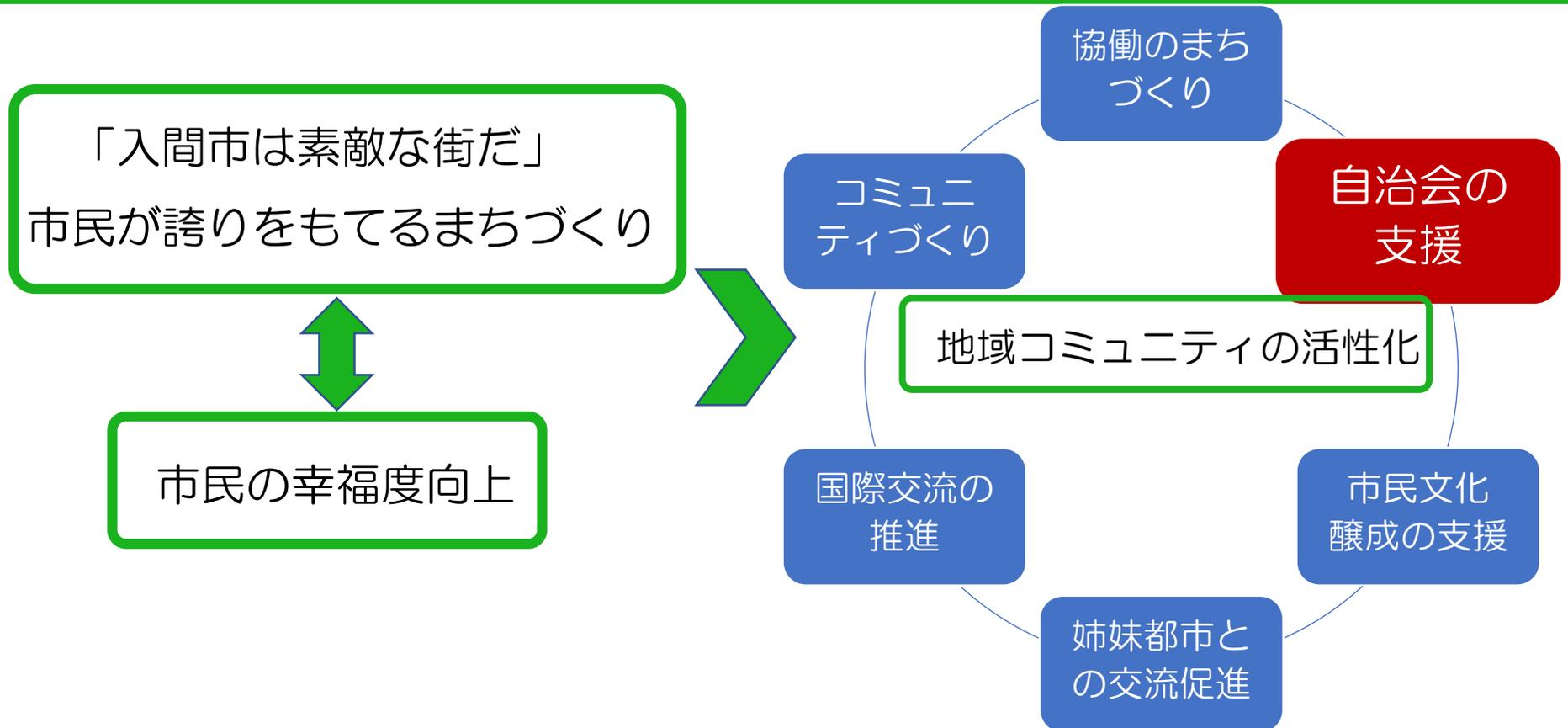


# 1. プロジェクトの概要

# 1. プロジェクトの概要-1

## プロジェクト発足の背景

入間市における「地域コミュニティの活性化」には、  
『自治会の支援』が重要！



# 1. プロジェクトの概要-2

## 「地域コミュニティづくり」プロジェクトとは

### 【プロジェクトが目指すもの】

自治会の活性化と活発化のために

現状と課題の見える化と

課題解決のためのヒントを探り提案する

### 【プロジェクトの内容】

#### 1. 現状と課題の見える化

ヒアリング&アンケート  
調査研究

課題の抽出 → 深掘り → 明文化

#### 2. 課題解決のヒントを提案

入間市自治会内  
他地域自治会  
自治会活動以外 } 活動や  
参考例

ヒントとなり得る事例の提示

## プロジェクトの進行



### 【現状の把握】

- ・ヒヤリング  
2022年9月～2023年2月
- ・アンケート  
2022年12月～2023年2月
- ・調査研究  
2022年9月～

### 【企画立案】

- ・担当部署との協働  
2022年9月～
- ・市役所庁内の調整  
2022年12月～
- ・更なる調査研究

### 【報告】

- ・中間報告会  
2023年3月27日
- ・報告会  
2023年5月24日

- ・現状課題の把握と見えにくい課題の発掘
- ・市民の声を聞く
- ・市内自治会、他地域、他のコミュニティについても調査 など

- ・ヒヤリング、アンケートから課題を明確化
- ・課題を踏まえた上での解決策の模索
- ・参考事例を調査研究 など

- ・アンケート結果
- ・課題の見える化
- ・参考事例
- ・今後について提案 など

## 2. アンケート結果

- 市民へのアンケート
- 自治会へのアンケート

### 市民のアンケート結果から

#### 市民へアンケートを実施

##### ■一般市民向けアンケート ※1月中旬実施

対象：全市民

手法：QRコードを掲載した広報いるま号外を全戸配布

回答数：173件（会員149名（86%）非会員22名（13%）未回答2名）



##### ■市職員向けアンケート ※12月下旬実施

対象：市職員（市内在住312名、市外在住137名）

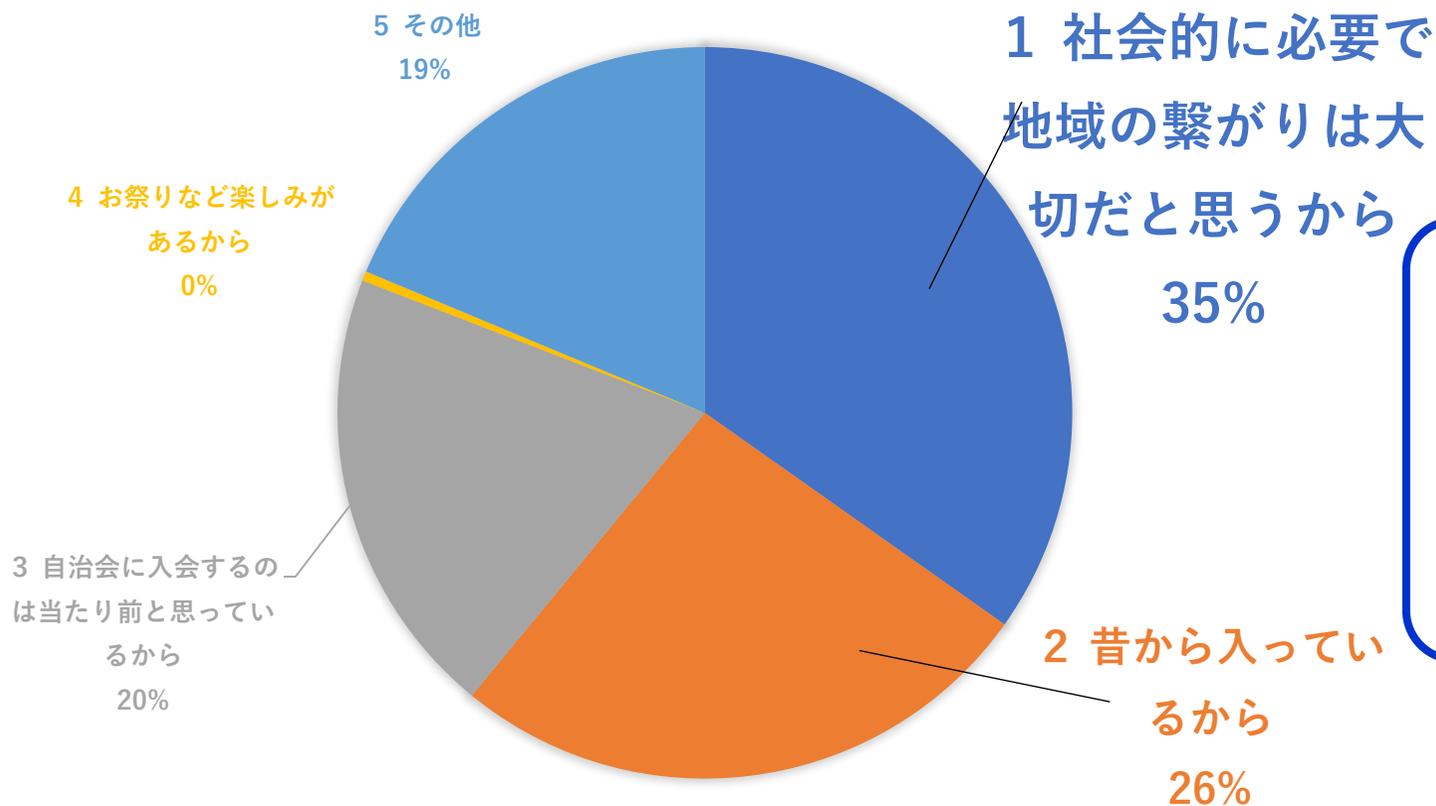
手法：行政専用システムを利用し、任意・無記名で回答

回答数：449件

（市内：会員238名 非会員74名 市外：会員：84名 非会員:53名）



### 1-1. 入会している一番の理由（グラフ）



自治会は必要

認識が強い



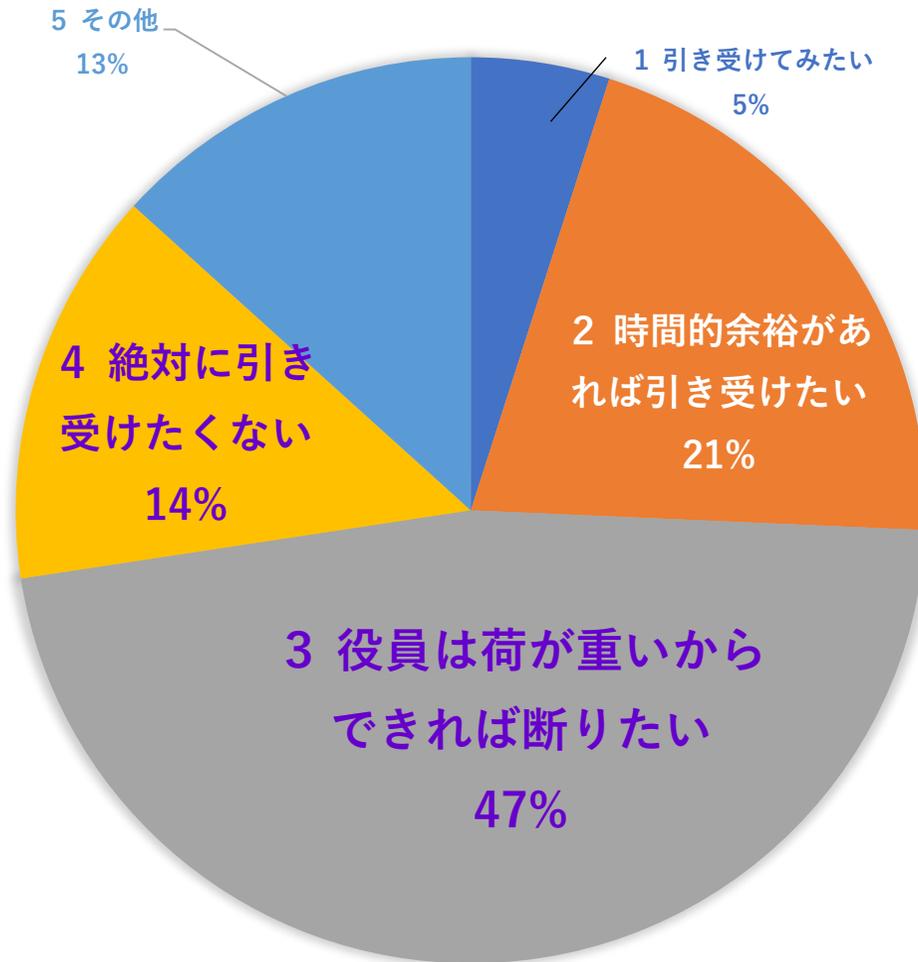
### 1-2. 入会している一番の理由 会員の声をピックアップ

- ご近所付き合いのため。
- ごみ置き場の使用や回覧板、防犯灯などのため。
- マンション管理組合で、任意加入となっている。
- 自治会に加入しないことが「悪」という風潮があるから。
- 自治会（班員）は昔から知っている方たちだから。
- 子供を地域の活動に参加させたかったから。
- 住んでいる地域を自分たちで大切に整えるため。
- 地域のことをよく知るには必要だと思ったため。
- 地域のコミュニティを維持するには自治会は必要だと思う。



## 2. アンケート結果 市民のアンケート結果から（会員）

### 2-1. 自治会役員等になることについてどう思うか（グラフ）



役員は  
引き受けたくない  
合わせて61%

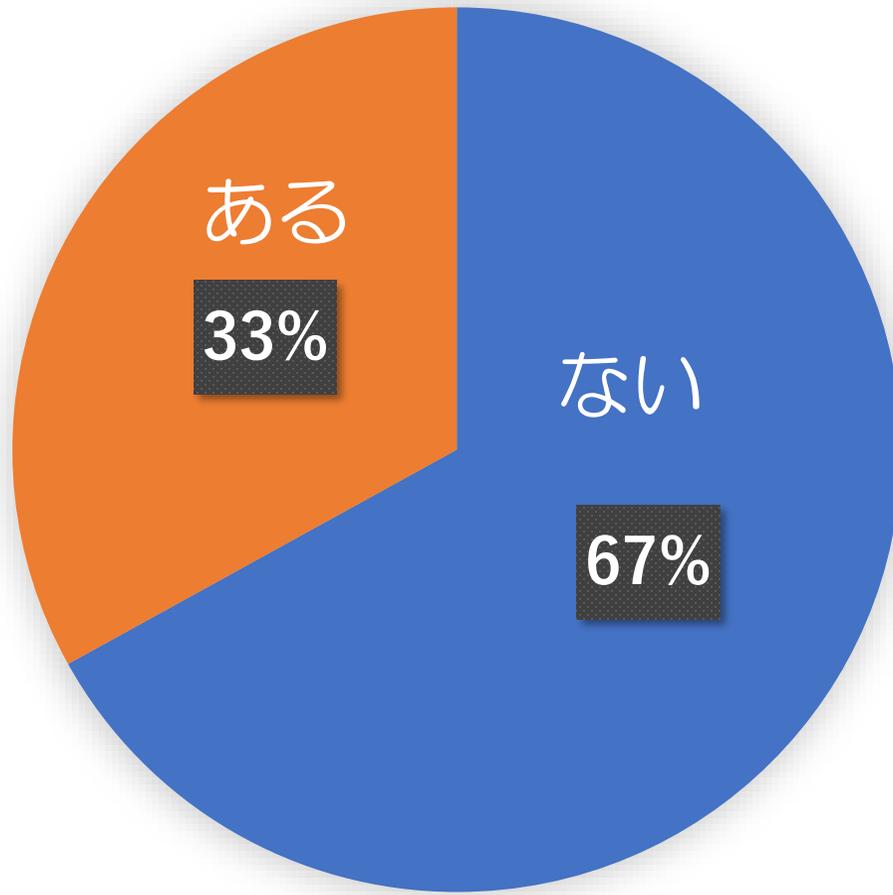


### 2-2. 自治会役員等になることについて会員の声をピックアップ

- 
- できる範囲で／順番が来たら引き受ける。
  - 多くの人が経験することでコミュニケーションが良くなる。
  - 役員は荷が重いが、協力出来ることがあれば協力したい。
  - 時間に余裕がないので、今は会長はできない。
  - 役員の負担軽減を求める。
  - 引き受けたくない、この自治会では何もできないと感じる。
  - 自治会が何のためにあるのかよくわからない。昔からいる住民の声が通りやすく、新しい人になんのメリットもない。

## 2. アンケート結果 市民のアンケート結果から（**会員**）

### 3. 自治会を退会しようと思ったことは？（グラフ）



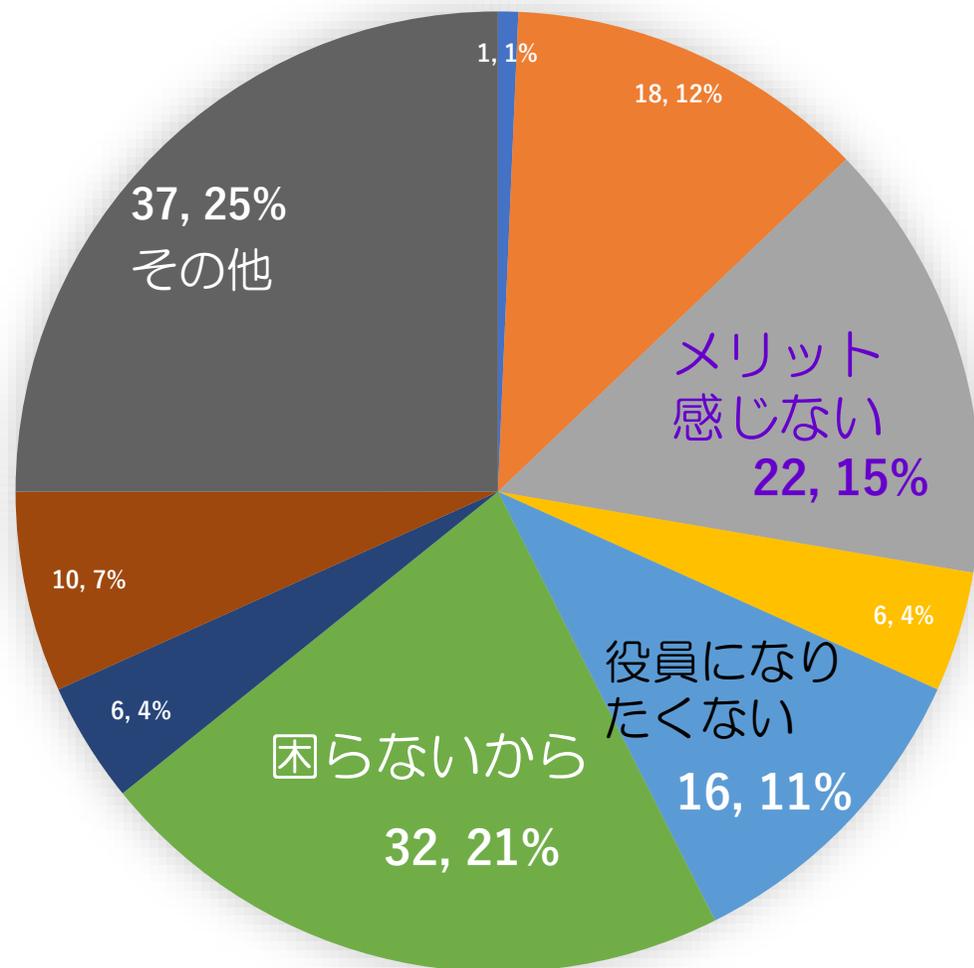
**退会**を考えた

全体の3割



### 4-1. 自治会に入会していない理由は？（グラフ）

- 1 社会的に重要ではないと思うから
- 2 昔から入っていないから
- **3 自治会に入会するメリットを感じないから**
- 4 会費や寄付を払いたくないから
- **5 役員になりたくないから**
- **6 自治会に加入しなくても困らないから**
- 7 近所付き合いが面倒だから
- 8 自治会活動に関心がないから
- 9 その他



### 4-2. 入会していない理由（非会員の声をピックアップ）

- 自治会に入っている両親と同居しているため入っていない。
- 班の中で人との繋がりが希薄になったため、昨年退会。
- マンション単位で入会していないため。
- 役員になると負担が大きく、年齢的にも体力的な負担になる。
- 自治会の重要性は認識してるが、面倒という意識が勝っている。
- 自治会の役割が分からない、メリットを感じない。
- 特に困ることがないため。
- 1人暮らしで入る必要性を感じない。また勧誘がなかったため。
- 勧誘等がなく、自治会が存在しているのかも不明のため。



### 5-1. 自治会に入会しても良いと思う条件（非会員の声をピックアップ）

#### 会費

- 会費の無料化。
- 決まった金額を払うのではなく、実費に対して負担。
- 会費以上の安心感の提供。
- 自治会会計の明朗化（意味不明な集金がない）。

#### 防災

- 大規模災害などの有事の際、共助できる仕組みづくり。
- 防災などに絞り、活動を必要最小限にすること。
- 災害時に支援物資や情報などを得られる。

#### メリット

- 役員には十分な給付金を支給する。
- 入会しなければ受けられないサービス（※公共施設の利用、ゴミの回収等）
- 入会すると毎年もらえるクーポンなど



### 5-2. 自治会に入会しても良いと思う条件（非会員の声をピックアップ）

— 続き —

運営

- 無理のない範囲での活動（できる時にできるものだけ）。
- 役員を押し付けられない。
- 役員などの役割を持ち回りで行い（期限の有る任期・輪番制）、自治会加入者の負担を均等化する。
- 休日等の集まりに参加する必要が無い。
- 行事の負担軽減（例えば希望者のみで祭りの開催など）。
- 地域の祭りや運動会の廃止。
- 定例会議をWEB会議として集まりを減らす。
- 回覧板をデジタル化すること。
- 自治会組織自体を維持するためだけの活動ではないこと。



### 自治会へアンケートを実施

#### ■自治会アンケート

※1月～2月実施



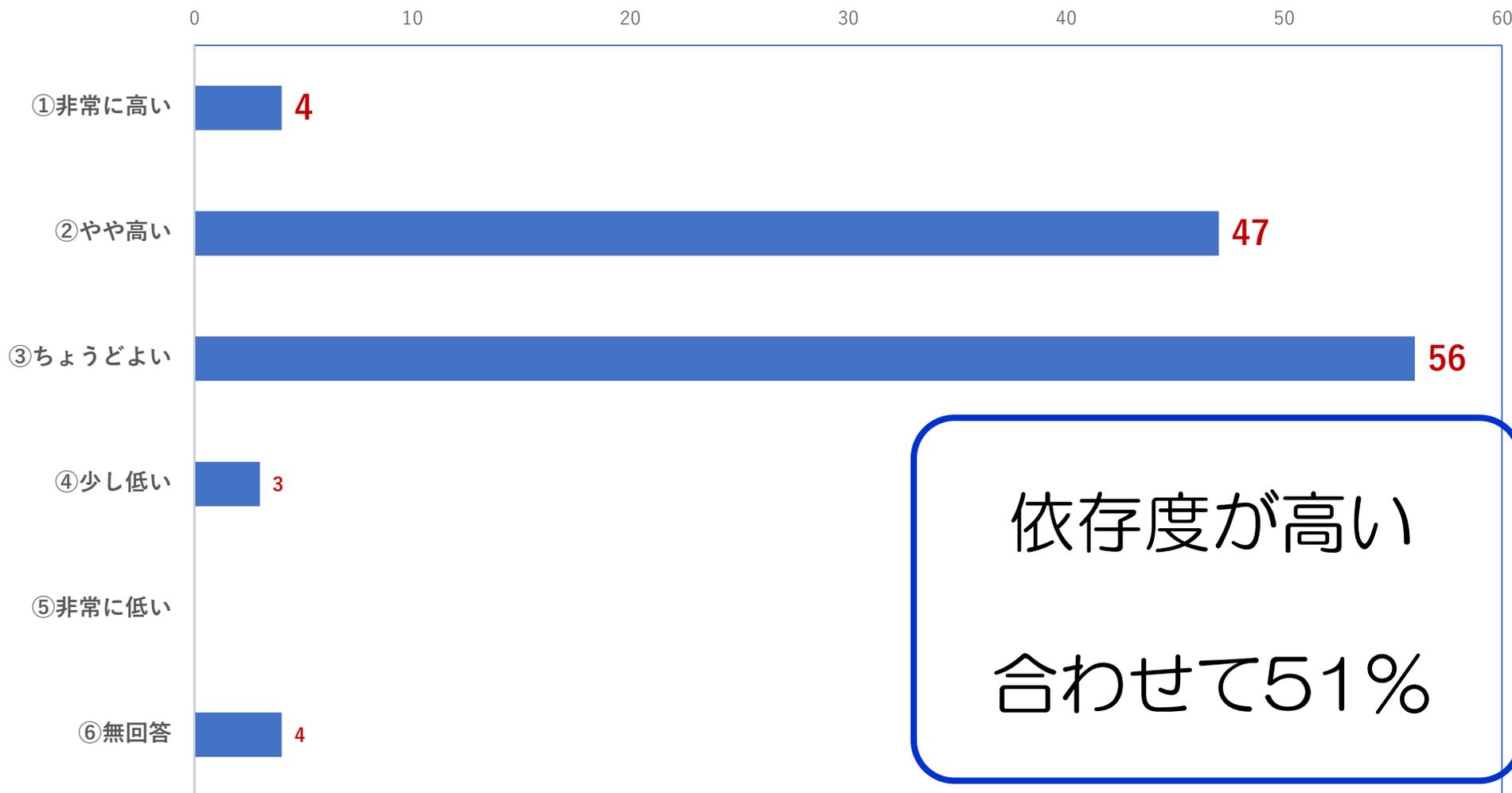
対象：市内119区・自治会長

手法：アンケート用紙を各区・自治会長へ配付

回答数：114件（回答率：約96%）

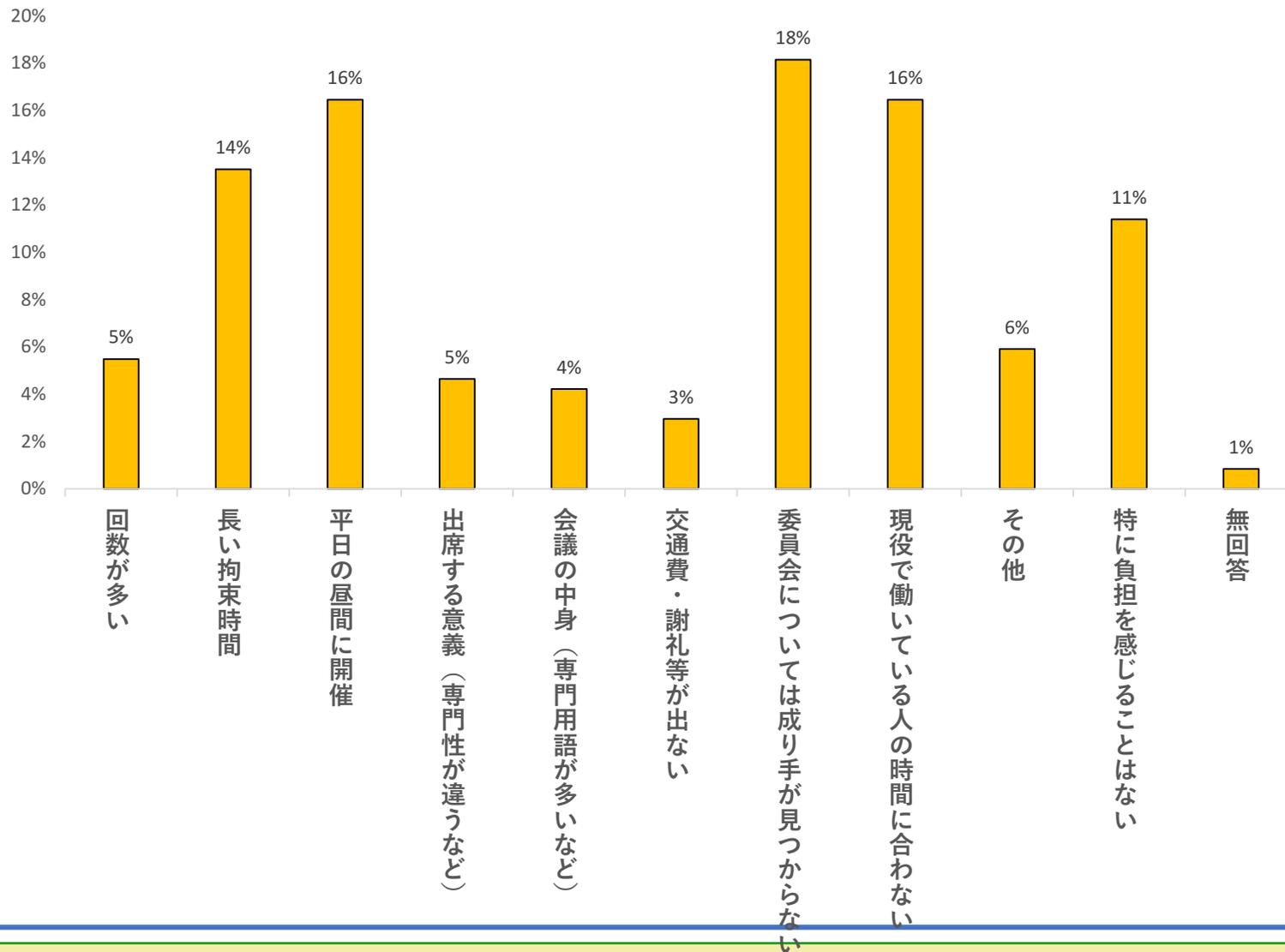


### 6. 市の自治会への依存度について（グラフ）





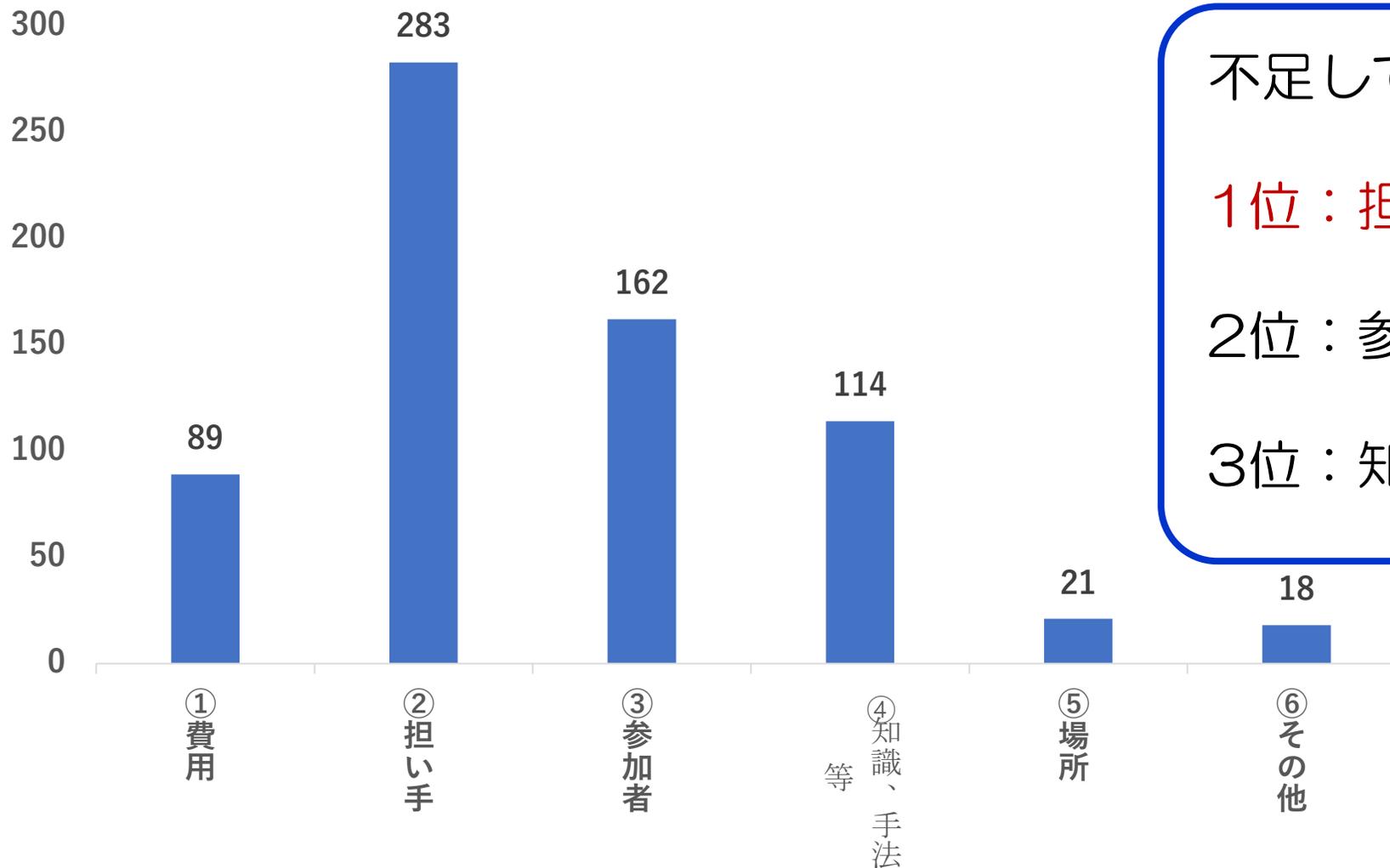
### 7. 市の会議、委員会等への出席依頼について負担な点（グラフ）



- 担い手不足  
→18%
- 現役との  
時間にずれ  
→合わせて  
36%
- 長い拘束時間  
→14%



### 8. 自治会活動を進める上で不足する点や問題点（グラフ）



不足しているもの

1位：担い手

2位：参加者

3位：知識・手法

### 9. 自治会運営で、問題と感ずること 自治会の声をピックアップ

1位(92件)：役員のなり手がいない



2位(75件)：高齢化などで自治会脱退を考える人の増加

3位(60件)：役員の高齢化

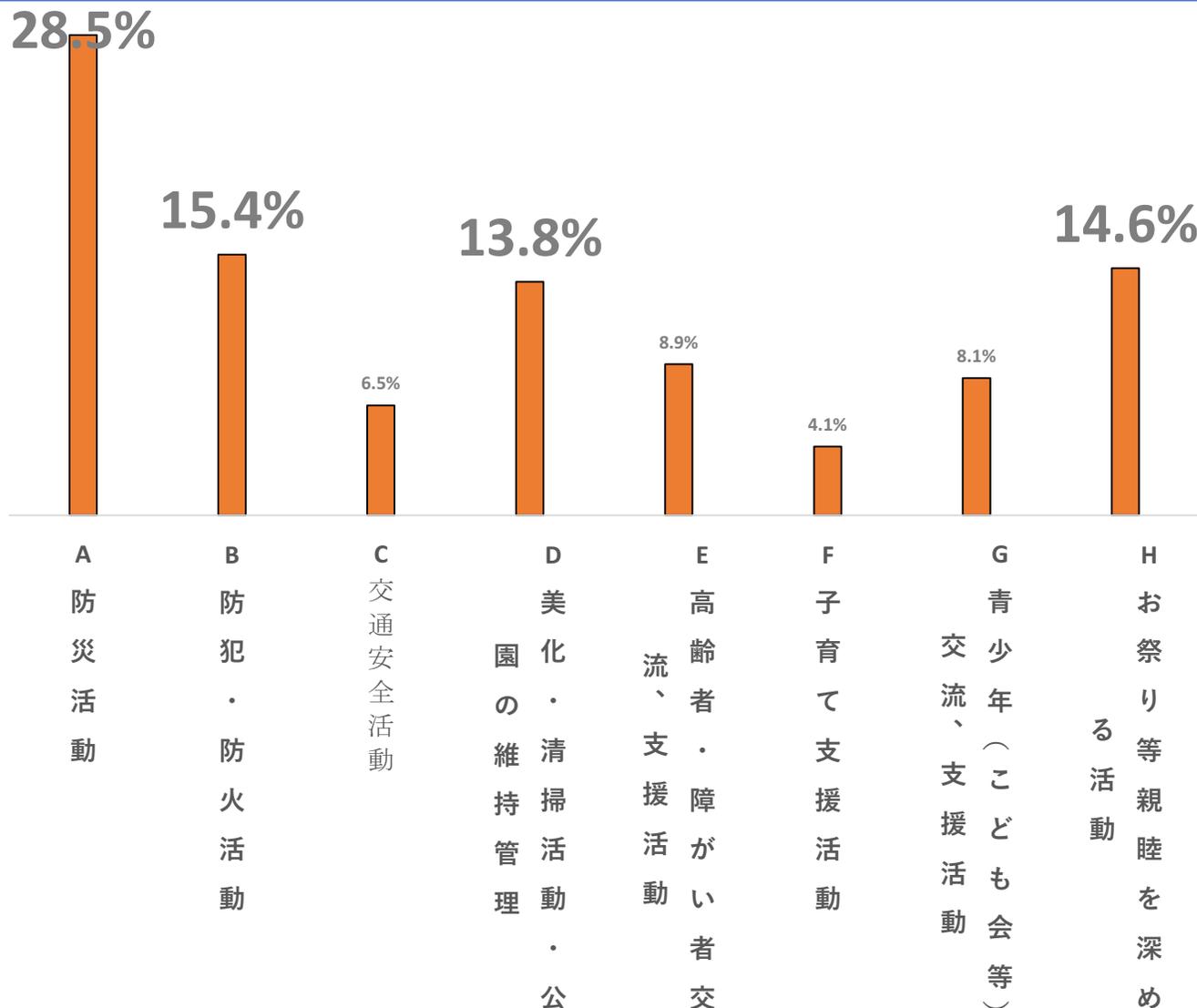
4位(58件)：新規加入者が少ない

5位(53件)：住民の自治会への関心が低い





### 10. さらに力を入れて取り組みたい活動（グラフ）



防災/防犯/防火

合わせて44%

### 11. 今後、新に活動したいこと 自治会の声をピックアップ

◎ 子ども関連の事業

◎ 地域の交流事業

◎ 高齢者の支援事業

◎ 自治会加入促進事業

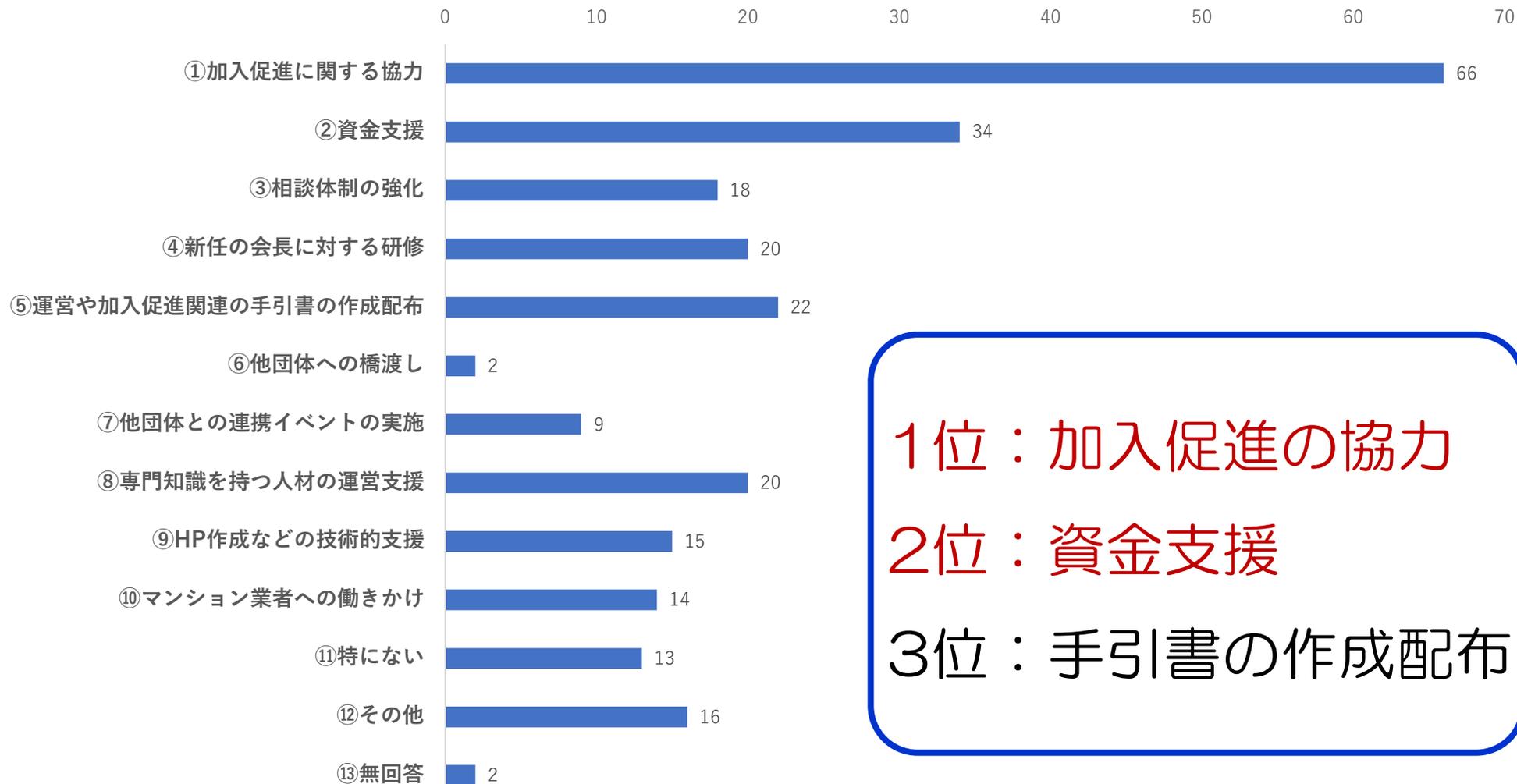
◎ デジタル化による事務の簡略化



## 2. アンケート結果 自治会へのアンケート（自治会）



### 12-1. 市からの自治会への支援で望むこと（グラフ）



### 12 -2. 市からの自治会への支援で望むこと自治会の声をピックアップ

- 市からの補助金の充実
- 市職員への自分の自治会への積極的参加
- 委員会招集に関する整理



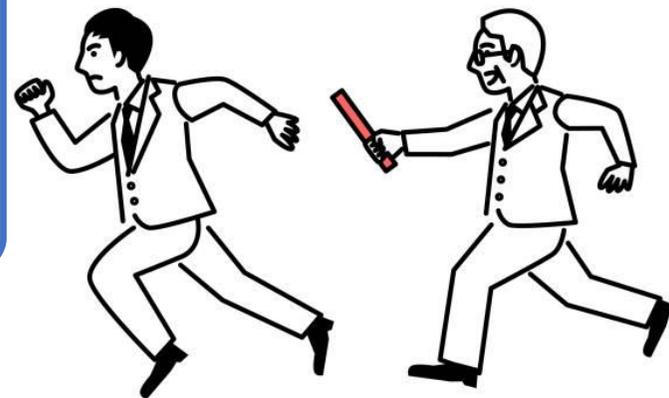
# 3. 課題の見える化

## あぶり出された課題 1. 役員に関して

# 役員の手が足りない

- 年齢層について再考
  - 〔新陳代謝を図り若返りが必要  
引退後の人材の活用も重要〕
- 業務量の適正化と業務内容の明確化
- 任期について考慮（短すぎ、長すぎ）
- 活動日時の柔軟化（平日も）

見直し必要！



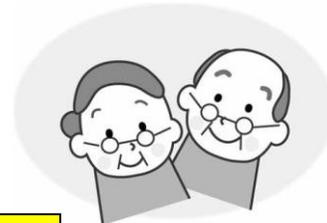
## あぶり出された課題 2. 運営に関して

# 自治会員のおもいと自治会活動にギャップがある

- 存在意義を打ち出す
- 防災活動の充実
- 高齢者対応の充実
- 新たな子育て世代対応
- 新たな広報・魅力発信
- デジタル化の推進
- 組織体制の再構築
- 活動（イベント）の見直し
- 新たな場づくりの構築
- 自治会内意識の統一



見直し必要！



※実際には様々な要素が組み合わせさり課題となっている

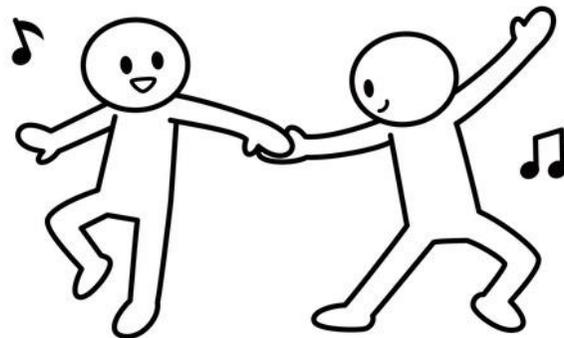


## あぶり出された課題 3. 加入と退会に関して

# 自治会の存在意義が住民に伝わっていない

- メリットを分かりやすく発信
- 効果的な広報手段を再考
- 新たなコミュニケーションの場の創出

見直し必要！



## あぶり出された課題 4. 自治会と市との関係性に関して

# 市の自治会に対する依存度が高い

- 役員の負担軽減のための対策
- 自治会活動への更なる支援（人的、金銭的）
- 自治会運営のデジタル化促進の支援

見直し必要！



# 4. 参考事例（成功事例）

## 4. 参考事例（成功事例）

### 課題解決のために考え方を整理

- 市内自治会内での活動事例
- 他地域自治会の事例



「あぶり出された課題」  
への対応を探り提示する

- ヒアリングとアンケートをもとに、入間市自治会内での活動事例を紹介
- 調査に基づく他地域自治会の事例を紹介

※入間市内自治会は、歴史、事情、自治会加入率（自治会により異なる）など、バックグラウンドはそれぞれ様々です。  
それをふまえた上で、参考となるような例を紹介します。

- 自治会活動以外の事例提示

- 他のコミュニティの参考となる事例を調査して紹介



### 入間市自治会内での活動事例 役員に関すること その①

- 自治会役員選出制度を改定  
→ 常任役員とブロック選出役員
- 推薦委員会や「次期区長を決める会」等  
→ 区長選考委員会の設立を予定
- 専任委員の登用
- 高齢の役員は他の役員がフォロー
- 区長の仕事を文章化して分かりやすく
- それぞれができる範囲で行い、協力し合う態勢づくり
- 自治会に事務員を置き、役員の負担を軽減
- 班長会議と組長会議を同日開催し、活動日を集約



### 入間市自治会内での活動事例 役員に関すること その②

- 規約を変更（HPや八王子市などからネタひろい）
- コロナで減った業務量を基準  
→大きな負担となるイベントは止める
- コロナを機会に役員の業務量を減らす  
→行事の見直しと検討
- 役員が楽しむための時間をつくる  
→外注化でできることを検討
- 役員の仕事を軽減  
→実行委員会制度でイベントのみにすることを検討



入間市自治会内での活動事例 役員に関すること 具体例

■ 役員選出制度の改定と負担軽減

ここでは加入率の高い自治会を紹介

西武ぶしニュータウン自治会

役員選出制度の改定

（ブロック役員（1期1年）と  
常任役員（1期2年）の併用）



自治会活動の継承と活性化

事務員の雇用



- ・若手主婦層の人材確保と活躍
- ・役員負担軽減

デジタル化の推進

（メール活用、Facebook開設  
パソコン教室開講、など）



役員負担軽減と会員の参加促進

活動業務の担当を明確化



役員と会員の負担を分散



## 他地域自治会での活動事例 役員に関すること 具体例

### ■手を挙げたくなる自治会

中学生も役員に！

神奈川県横浜市 Brillia City横浜磯子自治（9年前に建てられた1200世帯のマンション）

「こんなことしたい！」 「こんな街にしたい！」  
役員それぞれのアイデアを仲間と一緒に実現

- 「役員だから〇〇しなくてはいけない」ということは一切なく  
各役員の多様なライフスタイルを尊重。
- お互いのお仕事や子育て、趣味の時間を最も大切にし、  
無理なく役員を楽しめる運営を心がけている。

「“役員をやる” には多様性がある」という考え方が基本



### 入間市自治会内での活動事例 運営に関すること

- 夏祭りを止め、健康ウォークを開始→100名の参加がある
- 行事開催など一部外注化を検討
- お祭りで駿台の学生の協力を得る
- 民生委員と協力して高齢者見守り&手助け、居場所づくり
- 防災員として関心のある人を集め活動中→50人集まった
- 他と合同でこども会を実施
- 診療所で健康体操を毎週火曜日に実施→高齢者を元気に！
- 会報誌を作成し、自治会の見える化を推進



## 他地域自治会での活動事例 運営に関すること 具体例

### ■ 地域学校との連携 地域は学校の応援団、学校は地域の活力源

宮城県仙台市青葉区 吉成学区連合町内会

よしぼう隊発足  
（吉成中学校）

生徒全員の幅広い活動として、地域のコミュニティづくりなど地域貢献に取り組む

#### 中学生が地域行事に参加

- ＜主な活動＞
- ・ 市民センターまつりや「餅つき大会」への参加
  - ・ 防災訓練のサポート
  - ・ 冬には歩道や階段の雪かきを町内会と一緒に実施

交流のなかった高齢者と生徒が顔見知りとなる

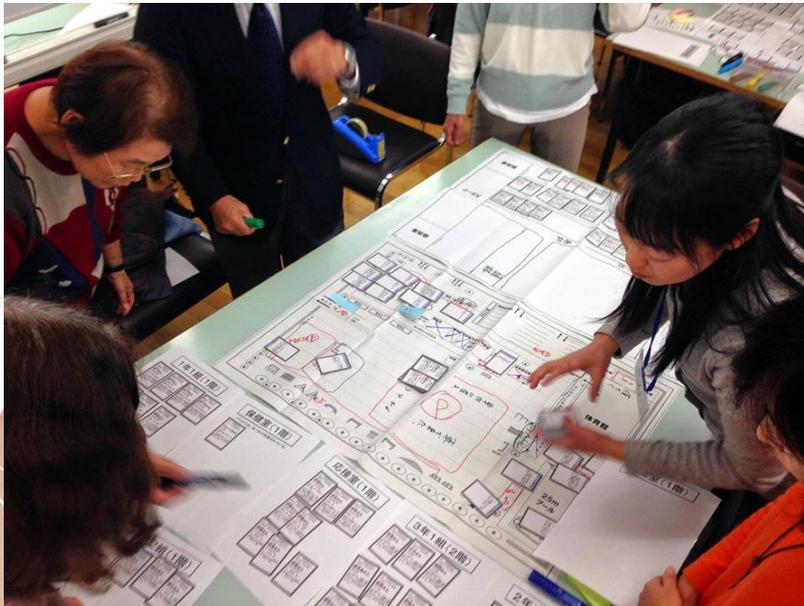
→ 顔の見える関係の構築（学校・保護者・地域住民）



自治会活動以外での活動事例 運営に関すること 具体例

■ 不測の事態に備える 避難所運営ゲームHUG

長崎県の市民団体、川崎市のNPO、静岡県、鳥取県、他多数が実施



防災に対する  
新たな取り組み

具体的で実践的な  
避難所運営を疑似体験

参加者同士の交流や  
連帯感が生まる



## 入間市自治会内での活動事例 加入と退会に関すること

### ■ターゲットを絞りアプローチ

豊岡地区 扇町屋第一区

30～40代 → 子どもの入学祝に図書カード配布

高齢者 → 敬老のお茶に手紙を同封



## 〇〇≡効果

### ■入会促進のチラシを作成

藤沢地区 上ノ原自治会

## 独自のチラシを作成し配布

上ノ原自治会において、地域住民の皆様からよくいただく質問に対する回答をQ&A形式でまとめてみました。

自治会に加入するメリットって何ですか？



日常生活の中で発生した環境等の様々な問題について、自治会を通じて行政に要望・相談することで、よりスムーズな解決につなげることができます。

災害発生時には地域住民による自主的な活動が非常に重要になるので、自治会としては防災訓練等による防災従事活動や避難所開設・運営の協力準備をして災害に備えています。

また、自治会活動を通じて、近隣住民の方々と親睦を深めることができるのも大きなメリットではないでしょうか。お互いのことを知っていた方が、いざという時に有益になることも多く、防犯効果も期待できます。

加入しなくてもいいんですよね？



もちろん強制ではありません。

ただし、防犯・防災活動、環境美化活動等を始めた自治会活動があるからこそ、地域が成り立っていることをご理解ください。

個人での解決が難しい問題が発生した場合は、自治会の役割が必要になりますので、ぜひとも加入をお願いいたします。

～自治会がなくなると、以下のことが想定されます～

- 防犯・防災⇒空き巣被害の増加、災害時の安否確認・情報伝達に支障
- 環境⇒ごみ集積所の管理不足や環境美化活動の減少
- 親睦・交流⇒親睦活動や交流機会の減少によるつながりの希薄化
- 福祉⇒子ども・高齢者の見守りをする人が減少、助け合い意識の希薄化

# 4. 参考事例（成功事例）

# （他地域自治会）

## 他地域自治会での活動事例 加入と退会に関すること

### ■ 地元の人気者の協力をあおぐ 神奈川県川崎市（全体）

**町内会自治会**

ご存知ですか？  
**地域の活動**

より良い暮らしや街の安全のために、  
地域の人々が協力しあって活動しています！

災害が起きた時のために  
防災訓練  
お花見の準備  
清掃活動をしています  
通学の見守りをしています  
お年寄りをお支えます  
地域の運動会  
地域のイベント開催  
子どもクリスマス会  
夏祭り  
お祭りなどのイベント開催  
夜間パトロール

みんなで協力しあうと  
もっともっとステキな街になるね！  
あなたも一緒に地域の活動を  
はじめてみませんか？

川崎フロンターレ  
マスコット  
キャラクター

お問い合わせ  
川崎市市民文化局市民活動推進課 TEL 044-200-2479  
川崎市全町内会連合会 TEL 044-738-0012

川崎フロンターレは「より良い街をつくる町内会・自治会」を応援しています！

町内会・自治会って  
どんなことをしているの？

町内会・自治会は地域を皆さんが安全に快適に暮らすための「つながり」です！

**災害に強いまちづくり**  
防災訓練や  
防災資材整備  
この集積所の維持管理  
遊歩道や公園の清掃等  
地域の美化活動

**きれいなまちづくり**  
この集積所、道路や  
公園の清掃をはじめ  
草花を植えたりして  
美しいまちづくりを  
目指しています。

**安全・安心のまちづくり**  
子どもの見守り  
交通安全活動  
夜間パトロール等  
駅前や公園、運動  
会など、地域の人たち  
がまわって一緒に活動  
しています。

**ふれあいのまちづくり**  
お祭りなどの  
イベント開催  
お祭りや運動会、運動  
会など、地域の人たち  
がまわって一緒に活動  
しています。

**情報・共有のまちづくり**  
相互による情報共有  
市町村よりの配布等  
この広報、町内会や  
自治会だより等の発行  
や、地域のイベント等  
の開催を促すなど、活動  
を盛り上げます。

町内会・自治会に入って「少しずつ」出来ることから「はじめてみよう」

**町内会自治会 Q&A**

Q. 町内会・自治会には  
入らないといけないの？  
A. いえ、強制ではありません。しかし、地域の人との  
助け合い、災害時の安全や楽しみあいの活動づくり  
等につながるから加入をお勧めしています。

Q. 忙しくて活動に参加が  
できないと思うけど...  
A. 強制ではありませんので、できる範囲の  
ご協力で大丈夫です。ご都合の合うとき  
などに気軽に参加してください。

Q. 若い人が加入している  
イメージがでないけど...  
A. 夏祭りやスポーツ大会などの際は、  
若い方が大活躍されており、そう  
いった活動が地域を見えさせています。

まずは  
ホームページを  
ご覧ください

川崎市 町内会 自治会 検索

川崎市	市民文化局市民活動推進課 044-200-2479	川崎市東区	044-661-3144
川崎市	044-200-2479	川崎市南区	044-777-2255
川崎市	044-200-2479	川崎市中原区	044-856-3135
川崎市	044-200-2479	川崎市高津区	044-864-6441
川崎市	044-200-2479	川崎市磯子区	044-935-3133
川崎市	044-200-2479	川崎市麻生区	044-933-3111
川崎市	044-200-2479	川崎市緑区	044-945-5112

川崎フロンターレ  
の選手を、  
入会促進PRに起用  
市とチーム双方の  
HPに掲載

みなさまのご加入 町内会自治会 を、お待ちしております！

あなたの指の  
町内会・自治会は です

連絡先は です

気軽に連絡してみよう！



## 自治会活動以外での活動事例 その他に関すること 具体例

### ■ 新たなコミュニケーション方法の形成

アテナアフアンコミュニティ（ファンケル）



掲示板などを通じて、  
会員同士が自由に交流

本音のしゃべり場として  
輪が広がる

売り上げ増につながる

- SNSと連携しない専用サイト
- 気軽にオンライン上で交流
- テーマは会員が自由に設定⇒自然と発言しやすい雰囲気  
※ネガティブな掲載もあるが、貴重な声として開発につなげる

# ここまでのまとめ



	現状	原因	対策	参考例
市民 非会員	非加入率41%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットを感じない</li> <li>・加入しなくても困らない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットの提供</li> <li>・効率化&amp;負担軽減</li> <li>・会計の明朗化</li> <li>・事業の明瞭化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①手をあげたくなる自治会</li> <li>②新しい防災関連行事に参加</li> <li>③楽しいコミュニティに参加</li> </ul>
市民 会員	<p>自治会は必要！</p> <hr/> <p>退会希望 1/3</p> <p>役員 { ・負担 ・嫌だ</p>	<p>地域の繋がりは大切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事が負担</li> <li>・高齢化</li> <li>・市の依頼多い</li> <li>・平日開催多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市からの依頼事項の軽減と整理</li> </ul>	<p>上記①、②、③</p> <p>④役員選出制度の改定</p> <p>⑤デジタル化</p>
自治会 会長	<p>不足！</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の担い手</li> <li>・活動の参加者</li> <li>・運営ノウハウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容 不明瞭</li> <li>・楽しめない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員から求められる行事、自分自身が楽しめることを実施</li> </ul>	<p>上記①、④、⑤</p> <p>⑥学校との連携</p> <p>⑦人気者の活用</p>
		<p>マニュアル化 データ化</p> <p>されて いない</p>	<p>デジタル化推進</p>	

# 5. 今後についてのご提案

### ◆自治会に向けての提案

- 自治会活動の見える化
- 自治会会計の明朗化
- 役員の負担軽減
- デジタル化による効率化



### ◆自治会に向けての提案

- 自治会活動の見える化
- 自治会会計の明朗化
- 役員の負担軽減
- **デジタル化**による効率化

まずはここから！

- デジタルツールを活用し公開
- 業務を文章化してデジタル化
- 参考例を真似てみる

★役員のやりたいこと（行事等）を明確化し、企画・運営

※まずは**役員が楽しめる**ことを優先する

★役員選出制度を含む規約の改定

★地域の**こどもたちがやりたいこと**をリサーチし企画・運営

★**全部自分たちでやろうとせず**、外注や事務職員雇用を検討

### ◆市に向けての提案

- 役員の負担軽減

→ 依頼事項の見直し

依頼する窓口や流れの整理

- 自治会活動への人的支援・金銭的支援
- 自治会運営のデジタル化促進の支援



### ◆市に向けての提案

- 役員の負担軽減  
→ 依頼事項の見直し  
依頼する窓口や流れの整理
- 自治会活動への  
人的及び金銭的支援
- 自治会運営のデジタル化  
促進の支援

まずはここから！

- 市としてのデジタル化を強化
- 依頼事項の全体を把握し軽減
- 依頼経路の整理や一本化
- 新たな助成金設置等の検討

### ★デジタル自治会の実証実験

※市と自治会の連絡や会議、委員会等への出席をデジタル化

### ★入間市HPの自治会ポータルサイトの充実と、IT研修の実施など



## ◆参考 便利なアプリ

自治会運営をサポートし、災害時には安否確認システムとして活用できるアプリ

初期費用は無料でも月額等でも運営に関わるラーニングコストがかかる場合がほとんど。

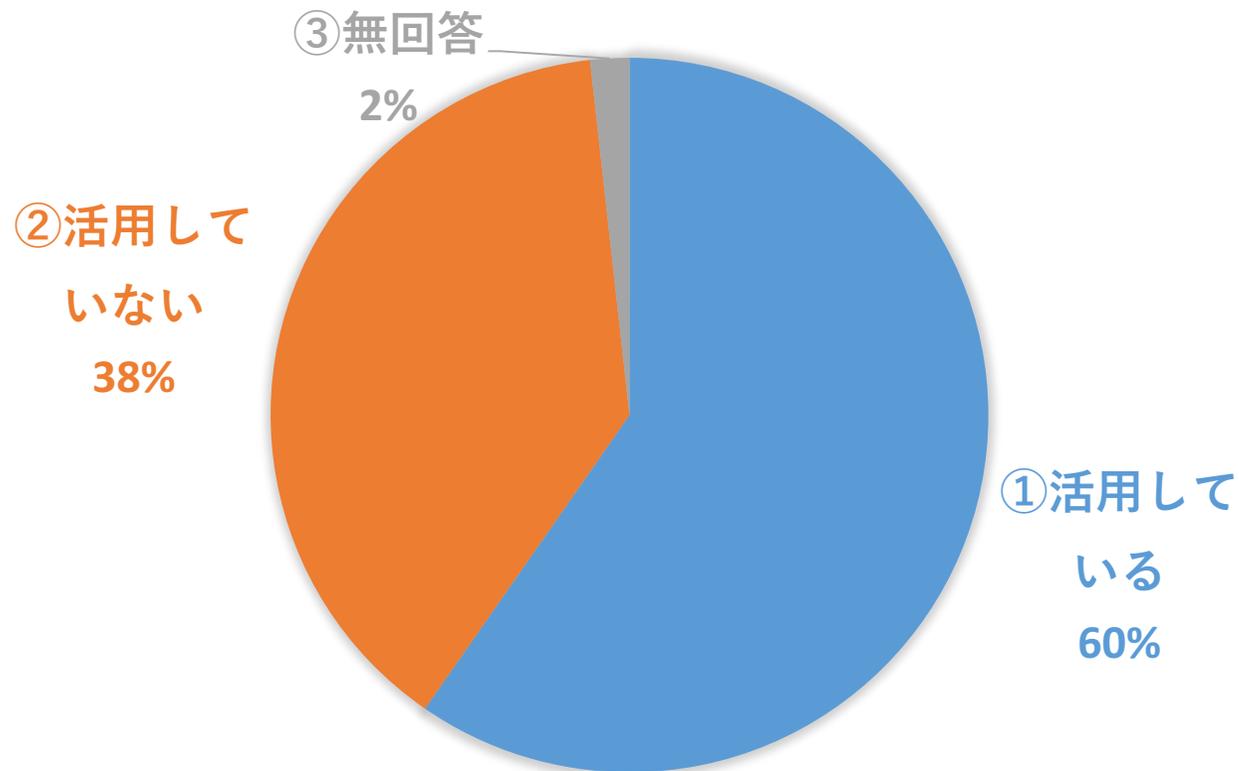


ご清聴 ありがとうございます！

SNSの活用について (グラフ)

(入間市自治会)

役員同士の連絡にメールやラインなどのSNSを活用しているか



活用中：60%

未活用：38%



## SNSの活用について 自治会の声をピックアップ（入間市自治会）

### 活用しているツール

- LINEやメール
- スケジュール資料等共有アプリ
- Googleドライブ
- HP等

### 活用していない理由

- 知識がない
- スマホやパソコンの操作が難しい会員が多い



## デジタル化したいこと 自治会の声をピックアップ（入間市自治会）

- ホームページの立ち上げ
- 自治会報等を紙媒体以外での周知
- 電子回覧板の導入
- オンライン会議（Zoom・Teams）の活用
- グループLINE等での情報伝達の効率化